

■避難行動計画の掲載項目について

【凡例】赤文字：地震 青文字：津波・風水害 緑文字：土砂災害 黒文字：その他全般

項目	第1回策定会議で出された意見（東区）	掲載項目（案） ※太文字は、他区の意見を参考に追加	知りたい度			点数	追加したい内容
			A	B	C		
①災害の基礎知識・ 基礎情報	<ul style="list-style-type: none"> 津波の高さまたキロメートル 津波の天竜川遡上に関する情報 警報の種類と定義（地震、水害） サイレンの情報 	1 地震と津波の発生メカニズムと被害想定					
		2 洪水のメカニズムと被害想定					
		3 土砂災害のメカニズムと被害想定					
		4 過去の災害履歴紹介					
②その他の知識	<ul style="list-style-type: none"> 備蓄品（3日分の食料を備える、支援は来ない） 避難時の最低限持ち出すもの 食料等の備蓄 ライフラインが使えない時の対応 自主防災隊、水防活動の周知 	5 普段からの備え（非常用袋準備リストなど）					
		6 けがの際の救護方法					
		7 ペットの対応					
		8 避難所の紹介（場所、設備、備蓄品など）					
		9 自主防災隊組織の紹介					
③意識啓発	<ul style="list-style-type: none"> 想定外を常に頭に入れて行動する 安全でないことを常に意識 区民への注意喚起 防災（減災）意識の共有化 	10 各家庭、地域ごとの避難経路設定のすすめ					
		11 自助、共助の大切さの訴え					
④高齢者・要援護者・ 災害弱者	<ul style="list-style-type: none"> 災害時要援護者への情報周知（平常時、災害時） 災害時要援護者の支援（いつ、どこへ、誰が、避難させるか） 災害時要援護者台帳の整理 	12 要援護者などの避難行動（普段からの備え、災害時の対応など）					
⑤情報収集・伝達	<ul style="list-style-type: none"> 水害に対する情報収集、備え 災害情報の入手手段（テレビで情報を得る⇒電話（有線）⇒ラジオで情報⇒電気が停まれば無線） 家族との連絡手段 情報伝達システムを分かりやすく表現 情報収集の方法（高齢者、無関心層にも分かりやすい内容） 同報無線からの情報 	13 自ら災害情報を得る方法					
		14 家族、仲間などの安否確認方法					
		15 各種情報の種類（避難勧告・指示の違い、サイレンの種類など）					
		16 情報伝達体制					
⑥発生前の減災方法	<ul style="list-style-type: none"> 事前の対策（家屋の耐震化、家具の固定等） 	17 家や塀などの耐震化のすすめ					
		18 家の中の備え（家具固定、家具配置の工夫など）					
		19 初期消火方法の紹介					
⑦災害発生後の対応	<ul style="list-style-type: none"> 状況別（平日、昼夜等）の対応方法 台風、大雨の際の避難の判断基準（避難するか家に留まるか） 避難のタイミング（注意、警戒等警報との関係） 災害発生時の行動 地域で行うべきこと 	20 とっさのときの身の守り方					
		21 地震や津波の避難のタイミングと行動ポイント					
		22 洪水時の避難のタイミングと行動ポイント					
		23 土砂災害の避難のタイミングと行動ポイント					
		24 帰宅困難者対応の紹介					
		25 外国人の対応（避難方法の周知、意識啓発など）					
⑧防災マップ	<ul style="list-style-type: none"> 地震直後に逃げる場所 集合場所 見てもらえるハザードマップづくり 天竜川の堤防危険箇所の表示 	26 各災害の被害想定（ハザードマップなど）					
		27 各災害の危険箇所（災害履歴など）					
		28 各種避難所、幹線避難路					
		29 防火水槽などの防災設備					
		30 病院、救護所などの医療施設					
		31 標高、地形情報など					